

刊行にあたって

平成17年10月、富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学の富山県内3つの国立大学が統合され、新富山大学になったのを機に、富山大学教育学部が「人間発達科学部」として生まれ変わりました。「混迷の時代を拓く教育力の育成」をコンセプトに、「発達教育学科」と「人間環境システム学科」の2学科6コースを設けて、従来の教育学部が担ってきた地域の学校教育人材の育成はもとより、生涯学習時代にふさわしい先進的な教育カリキュラムのもと、学校教育・生涯教育・社会教育から企業内教育まで、さまざまな教育の場面で活躍できる持続可能な自己教育力を持った人材の育成を目指しています。

発達教育学科には、人間の心理を科学的に探求する教育心理コース、高度な実践的教育力を養成する学校教育コース、教育と福祉の融合による発達支援を目指す発達福祉コース、人間環境システム学科には、健康を支えるスポーツリーダーを育成する地域スポーツコース、地球的視野でコーディネート力を育成する環境社会デザインコース、未来を創造するコミュニケーション能力を育成する人間情報コミュニケーションコースがあります。

これら、21世紀の時代が求める人間社会のテーマを主軸にした教育人材の育成には、多様で幅広い学問研究を融合した新しい知の創造が不可欠です。

ここに、新たに人間発達科学部紀要を刊行するにあたって、学部が目指す人間を取り巻くさまざまな諸問題の解決に向けた知の融合の研究成果を、広く国内外に発信するとともに、興味関心を一にする教育・研究者が研究成果を共有することによって、この分野の研究が益々発展し、我が国の教育改革の一端に寄与できることを願っております。

平成18年10月
富山大学人間発達科学部
学部長 山西 潤一